

日中交流会

早田千家子（全日本太極拳協会福島県支部） 金森 泉(東京女子大学)

武術演武

学生さんが武術を発表してくださいました。全身を目いっぱい使い、美しく動く姿に感動しました。また、練習の積み重ねが想像されました。雑技団の公演を観た後にも感じたことですが、自分の体もあのようにしなやかに動くのではないかという気分になりました。夜にストレッチをしてみたところ、当然のことながら彼らの体とは程遠く、同じ造りのものとは思えませんでした。

(金森 泉)

今年度の中国側の学生の演武は、やや低調だった。丁度大学学生運動会の武術競技開催中でもあり、上級生がほとんどいなかった。それでも少年宮からも数名参加し、一生懸命披露してくれた。下級生でまだ全套路をうまくこなせないせいか、套路をいくつかに分断して行っていたのは、ほほえましかった。

(早田千家子)



上海体育学院の学生による演武

近藤洋子先生による”竹の子舞”

近藤先生の舞踏は、日本人にとっては馴染み深い舞であった。繰り返しの動作の中に曲に合わせたバリエーションも所々混じっており、覚えるのが大変そうな舞踏であった。中国では、これに似た舞踏は見かけたことが無い。中国の舞踏は、どちらかと言えば単純な短い動作の繰り返ししか、逆に最初から最後まで一連の流れを持つものが多いように思う。(早田千家子)



近藤洋子先生による竹の子舞

都倉雅代先生による創作舞

都倉先生の舞踏は、拝見するのが2回目ということもあり、前回よりも先生の身体の使い方に注目できた。柔らかな中に力強い張りがあり、とても感心した。今回も素敵な衣装を準備されており、それもまた楽しく拝見させていただいた。せっかく事前に買い求められていた花が、少し萎れてしまっていたのが残念だった。

(早田千家子)

都倉先生の踊りは、今までに見たことがなく、衝撃的なものでした。前もって動きを決めていないそうで、その時に自然と動くというお話を伺いました。気持ちを開放しているのだらうと感じました。あのような自由な踊りは経験したことがないのですが、とても気持ちよさそうに踊られていたのが印象に残りました。貴重な経験が、自分の体にも目を向ける機会になりました。ぜひ皆さんのようにしなやかに動くことができるようになったらいいなと心から思いました。

(金森 泉)

皆で踊ろう”筑子踊り”

筑子踊り唄を始めて踊った。唄は以前から知っていたが、踊りは見たことが無く、況してや自分が踊る立場になるとは考えた事も無かった。交流会までには何とか覚えつつもりであったが、所々間違えてしまった。しかし、とにかく楽しかった。(早田千家子)